

質疑回答書

工事名	(4) 美々地区外下水道工事	
質疑事項		回答事項
① 特記仕様書-第3章-第9節-その他-3に、路線17は水替えをしないで施工すると記載されていますが、想定している施工時の流量及び水位をご教示お願いします。また、流入量を減少させるため、スラッジセンターの返流水を2週間に1日程度停止することができるとありますが、2週間に1日(24h)のみ施工可能ということでしょうか。 事前調査の結果、施工可能な流量、水位である日数や施工時間の制限がある場合、設計変更の対象となるのでしょうか。		① 路線17はJR石勝線を土中横断しており、水替えによる施工が現実的ではないことから、水替工を想定していません。既設管の流量、水位につきましては、時期や時間によって変動がありますが、常時50%程度、返流水の送水停止で30%程度を想定しています。返流水の停止は2週間毎に1日程度を目安としています。あくまで参考であり施工時間24時間を約束するものではないことにご留意願います。なお、施設で管理する水質や時期にも左右されることから、詳細は施設関係者と協議し決定したいと考えております。 事前調査の結果により、当初設計と現場条件が異なる場合は、双方協議のうえ設計変更で対応します。
② 図面番号6の更生管断面図には、プロファイル#80Sとありますが、見積参考資料の分割設計書3/3、第1号内訳書では、プロファイル#80SWとなっています。どちらが正しいのでしょうか。		② 路線17にて想定している使用更生材は「プロファイル#80SW」であり、図面番号6の表記が誤りでした。なお、図面は参考図としているため、更生材の選定は任意となることも申し添えておきます。
③ 路線3及び路線6の水替工で使用する可搬式ポンプは、賃料のみ計上されていますが燃料費は計上しなくてよいのでしょうか。 質問年月日 令和4年5月24日		③ 水替えに要する可搬式ポンプの燃料費については、賃料に含めて計上しております。ただし、時期や時間、場所によって流量の変動があり、不明確であることから概数としており、当初設計と現場条件が異なる場合は、双方協議のうえ設計変更で対応します。